

2022年1月4日(火)

■みなさま、明けましておめでとうございます。

本年も引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

① 五木寛之 「三密」ならぬ「三散」の時代に

新型コロナウイルス禍を経て、これからは「三密」ならぬ「三散」の時代になるだろう。

まず「拡散」。

SNS(交流サイト)のちょっとした情報が一夜で世界に広がる。

次に「分散」。

会社や学校でリモートが増え、一極集中だった企業の拠点が散らばる。

そして「逃散(ちょうさん)」。

封建時代の貧しい農民が土地を放棄して逃げ出すことを意味する歴史用語だが、現代版が難民だ。体制と折り合いがつかなければ、逃げるしかない。

多くの「デランネ(漂流者)」が生まれる時代になる。

さすがの視点ですね。

感服いたしました。

② 為替 I

みずほ銀行の唐鎌大輔チーフマーケット・エコノミストは今年 1ドル=123円程度を予測。

輸入物価上昇が企業収益を圧迫するとの「悪い円安」の側面が意識されれば1ドル=120円前後で「日銀などが円安是正を示唆する局面も考え得る」という。

③ 「停滞の米国」

トランプ時代を脱した米国民は

「バイデン氏で本当に大丈夫なのか」

と思い始めた。

バイデン氏の支持率は発足当初の50%台後半から40%台前半に落ちた。

中間選挙は全下院議員と上院議員の約3分の1を改選する。

民主党は下院で過半数を4議席(20年の選挙)上回り、上院は与野党同数(ハリス副大統領の決選票で過半数に)と僅差で優位を保つ。

政権の不人気を映し、下院は民主党が過半数を割ると大半の専門家がみる。

改選州での共和党勢の引退で民主党に有利だった上院も予断を許さず、両院を失う大敗も起こりうる。

中間選挙でバイデン氏の民主党が優位を失えば、法律の制定はほとんど進まない。

④ コロナ

米ジョンズ・ホプキンス大によると、2日の米国の新規感染者数(7日移動平均)は **40.3万人**となり、**6日連続で過去最多を更新**した。

米疾病対策センター(CDC)によると、7日移動平均ベースの**新規入院患者数**は12月26日~1月1日の平均で **1日当たり約1万2700人**となり、前週比で46%増えた。

2日、複数の米メディアに出演したファウチ首席医療顧問は、状況を「**深刻な急増**」と表現した上で、ピークが抑えられるまでに**今後数週間かかる**との認識を示した。

ミネソタ大のマイケル・オスターホルム教授も「**今後3~4週間で感染者数は劇的に増える**」とみている。

ファウチ氏は「たとえ重症化する割合が低くても、これまでよりはるかに多い人が感染した場合、結果として多くの人が入院する必要がある」と強調した。

⑤ 米国国債利回り

米国国債全面安。

米国2年国債利回りは一時0.8%台に。

マネーは国債からまだ株式(特にアップル)に流れています。

米国債券2年利回り			0.782	▲6.79%	+0.050	H:0.804 L:0.758	05:39
米国債券5年利回り			1.362	▲8.28%	+0.104	H:1.370 L:1.291	05:39
米国債券10年利回り			1.630	▲8.79%	+0.132	H:1.635 L:1.529	05:40
米国債券30年利回り			2.018	▲6.84%	+0.129	H:2.025 L:1.902	05:39

APPLE INC (AAPL)

ポートフォリオへ

取扱市場 / NASDAQ

株価

チャート

現在値 / 181.56 +4.00 (+2.25%)

株価



⑥ 為替Ⅱ

ドルと人民元が強いですね。

今年は、

米ドル 115 円 → 125 円

ポンド 155 円 → 180 円

人民元 18 円 → 21 円

を予想します。

今年も為替差益をしっかりと得ていただければと思います！



⑦ ビットコイン

3%安。

下落トレンド継続。

